

		A案	校庭と教室との隣接を優先した案	B案	校庭の採光を優先した案	C案	体育館棟を高層化した案	D案	建物周辺の開放性を優先した案		
配置	配置										
	規模	規模		<ul style="list-style-type: none"> 延べ面積：9,200㎡ 建築面積：2,800㎡ 校庭面積：3,200㎡ 建物高さ：新設校舎 約17m、体育館棟 約18.8m 	<ul style="list-style-type: none"> 延べ面積：9,100㎡ 建築面積：2,700㎡ 校庭面積：3,800㎡ 建物高さ：新設校舎 約17m、体育館棟 約18.8m 	<ul style="list-style-type: none"> 延べ面積：9,400㎡ 建築面積：2,600㎡ 校庭面積：3,900㎡ 建物高さ：新設校舎 約17m、体育館棟 約22.6m 	<ul style="list-style-type: none"> 延べ面積：9,200㎡ 建築面積：2,900㎡ 校庭面積：3,500㎡ 建物高さ：新設校舎 約20.5m、体育館棟 約19.8m 				
		校舎環境	教室環境	○ 校庭に面する教室が多く、校庭へ移動しやすい	■ 新設校舎の中廊下に採光、通風対策が必要である					○ 校舎が南北に開けているため、校舎内が広々と感じられる	○ 体育館棟により教室への環状八号線からの騒音を緩和できる
			移動	■ L字型校舎のため、校舎内における児童の移動距離が長い	○ 校舎内における児童の移動距離が短い	■ 口の字型校舎のため、校舎内における児童の移動距離が長い	○ 校舎内における児童の移動距離が短い	○ 校舎内における児童の移動距離が短い		○ 校舎内における児童の移動距離が短い	
校庭環境		広さ形状	■ 4案中1番狭い	○ 正形で、4案中2番目に広く確保できる	■ 4案中1番広く確保できるが、不正形である	○ 4案中3番目の広さだが、既存よりも広く正形で確保できる	■ 新設校舎の日影が午後2時から校庭西側に落ち始める(冬至)	■ 霜柱、凍害対策が必要となる	○ 4案中3番目の広さだが、既存よりも広く正形で確保できる	■ 新設校舎の日影が午後2時以降は校庭の半分以上に落ちる(冬至)	
	日照	○ 校庭を南側配置したことにより、日照が良い	○ 校庭を南側配置したことにより、日照が良い	■ 霜柱、凍害対策が必要となる	○ 校庭を南側配置したことにより、日照が良い	■ 霜柱、凍害対策が必要となる	○ 校庭を南側配置したことにより、日照が良い	○ 校庭を南側配置したことにより、日照が良い	■ 霜柱、凍害対策が必要となる		
	その他		■ 校庭に環状八号線からの騒音の影響がある					○ 校庭に環状八号線からの騒音の影響がある	○ 体育館棟により校庭への環状八号線からの騒音を緩和できる		
周辺環境	日影	■ 北、西側近隣への日影が現状より広範囲となる	■ 北、西側近隣への日影が現状より広範囲となる	○ 北側近隣への日影が現状より特に改善される	○ 北側近隣への日影が現状より特に改善される	○ 北側近隣への日影が現状より特に改善される	○ 北側近隣への日影が現状より特に改善される	○ 北側近隣への日影が現状より特に改善される	○ 北側近隣への日影が現状より特に改善される		
	騒音砂埃	○ 校庭の騒音、砂埃による近隣への影響が少ない	○ 校庭の騒音、砂埃による近隣への影響が少ない	■ 校庭の騒音、砂埃による北側近隣への影響がある	■ 校庭の騒音、砂埃による北側近隣への影響がある	■ 校庭の騒音、砂埃による北側近隣への影響がある	■ 校庭の騒音、砂埃による北側近隣への影響がある	■ 校庭の騒音、砂埃による北側近隣への影響がある	■ 校庭の騒音、砂埃による北側近隣への影響がある		
工事環境	既存利用	- 既存校舎の利用はない	- 既存校舎の利用はない	○ 既存校舎利用のため、児童の負担が少ない	○ 既存校舎利用のため、児童の負担が少ない	■ 既存校舎に対する仮設校舎の日影の影響が大きい	■ 既存校舎に対する仮設校舎の日影の影響が大きい	○ 既存校舎利用のため、児童の負担が少ない	○ 既存校舎利用のため、児童の負担が少ない		
	周辺への影響	■ 北、西側近隣に新設校舎の工事騒音の影響がある	■ 北、西側近隣に新設校舎の工事騒音の影響がある	○ 既存校舎により、北側近隣への工事騒音を緩和できる	○ 既存校舎により、北側近隣への工事騒音を緩和できる	■ 西側近隣に新設校舎の工事騒音の影響がある	■ 西側近隣に新設校舎の工事騒音の影響がある	○ 既存校舎により、北側近隣への工事騒音を緩和できる	○ 既存校舎により、北側近隣への工事騒音を緩和できる		

■ 新設校舎 ■ 新設校庭 ■ 歩道状空地 ■ 既存校舎利用 ■ 仮設校舎 — 等時間日影ライン (3時間、5時間) - - - みなし境界線 5m・10m

○ メリットと考えられる項目 ■ デメリットと考えられる項目
 ※1. 120mトラックを配置 ※2. 配置の等時間日影図は、測定面の高さ = 4(m) 緯度 = 35.6981° [冬至] 測定時間:8時~16時